

スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.6



Photo
秩父郡
横瀬町

Contents

- 2P 山中院長の疾患のお話
- 4P 看護部 看護理念
- 5P 接遇勉強会・介護教室
- 6P 患者様の一言・訪問リハビリ
- 7P スタッフの一言・地域医療連携室かわら版
- 8P リハビリアルバム

山中院長の疾患のお話

Story of Yamanaka chairperson



インフルエンザの予防と対策

猛暑の夏も和らぎ朝夕が涼しくなってきました。薄着で居ると肌寒さを感じる様になり、そろそろインフルエンザが流行する季節となってきました。

インフルエンザは毎年11月下旬に発生し初め、徐々にその数が増えて年末に小さなピークを、翌年の3月頃に大きなピークを迎えて4月頃に収まる流行のパターンをとり、季節性のインフルエンザと呼ばれます。風邪の症状に加えて高熱、筋肉痛などを伴い幼児や高齢者など体力の弱い人は重症化し易く、二次感染や急性脳症などを併発して死亡する事があります。また、数年から数十年ごとに新型のインフルエンザが出現し、流行すると多数の死者が出る事があります。

インフルエンザは16世紀のイタリアで名付けられました。当時は汚れた空気(瘴気)や天体の運行や寒気などの影響によって発生するものと考えられ、「影響」を意味するinfluenza(英influence)と名付けられました。日本では平安時代からそれらしい記述が残っており、江戸時代には「お七かぜ」「琉球風」など当時の世相を反映した名称と呼ばれていました。

病原体はRNAウイルスに分類されるインフルエンザウイルスで、A型・B型・C型の3種があり、このうち主としてA型とB型がヒトのインフルエンザの原因になります。A型とB型のウイルス粒子表面にある16種類の赤血球凝集素

(HA)と、9種類のノイラミニダーゼ(NA)という糖蛋白の組み合わせで亜型が存在し、それぞれH1N1-H16N9といった略称で表現されています。感染経路は咳・くしゃみなどによる飛沫感染が主流で、経口・経鼻で呼吸器系に感染します。免疫力の低下は感染しやすい状態を作るため、偏らない十分な栄養や睡眠・休息を十分とることが大事です。

感染後は抗インフルエンザ薬としてオセルタミビル(タミフルR)、ザナミビル(リレンザR)に加えて注射薬のペラミビル(ラピアクタR)等があります。いずれも発症後48時間以内に使用しなければ効果がありません。

予防にはワクチンが有効です。ワクチンはウイルスの成分を体内に入れることで、身体の免疫機構にさらに抗体を作らせ、ウイルスを感染しにくくします。本来、ウイルスが蔓延し易い人混みを避けるのが最もよいのですが、当院のように長期に渡って入院が必要な患者様が集団生活を余儀なくされる環境下では、お互いの感染を予防する為に積極的なワクチン接種が推奨されます。

これからも患者様が安心してリハビリテーションに励む事が出来る様にサポートしていきたいと存じます。

明生リハビリテーション病院 院長
山中 泉

インフルエンザと通常のかぜとの違い

	インフルエンザ	通常のかぜ
原因	●インフルエンザウイルス	●ラノウイルスなどのウイルス ●クラミジア ●マイコプラズマ ●細菌 ●寒冷刺激
感染力	感染力が強く、ウイルスが気管の粘膜で急激に増加する	感染力は弱く、ウイルスは徐々に増える
主な症状	●38度以上の発熱 ●頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状 ●鼻水 ●のどや胸の痛み ●下痢や腹痛	●のどの痛み ●鼻がムズムズする ●水のような鼻水 ●くしゃみや咳 ●腰痛
流行	短期間に膨大な数の人に感染する	徐々に感染が広がっていく
死亡率	65歳以上の高齢者の死亡率が高くなる	ほとんど変化なし
その他の特徴	●肺炎などを併発し、重症化することが多い ●短期間に小児から高齢者まで感染が広がる ●65歳以上の高齢者での死亡率が高まる	発熱もあるがインフルエンザほど高くなく、重症化することはめったにない

看護部 看護理念

Idea of Nursing department

「確かな知識と技術、豊かな感性」

ひとりひとりの笑顔を大切に、
心のこもった看護サービスを提供します。

みなさまはじめまして。看護部の平塚です。私たちは、寝たきり「ゼロ」在宅復帰を目標にリハビリテーション科と協働し、病棟での日常生活に合わせ「生活リハビリ」を看護の立場で行っています。

入院当初より患者様・ご家族様の方と話し合いを行いながら、みなさまの能力を最大限に活用した日常生活を支援する基本ケア(食事・排泄・清潔・活動性)を中心に一貫したケアを提供します。また、心身の状態を最良に整えるための看護を提供します。「こ

の病院に入院してよかった」と笑顔で自宅に戻られるように、いつもまごころを心がけています。

みなさまが「その人らしく、より生き生きと地域で生活できるように」を目標としてご本人様・ご家族様を含めた他職種チームで在宅復帰援助を行います。

明生リハビリテーション病院 看護部長
平塚 由美



接遇勉強会・介護教室

Study session

接遇勉強会

3階病棟 主任
佐藤 ひとみ

身だしなみ・挨拶について

相手への第一印象は、職員の身だしなみによって大きく変わるものです。自身の身だしなみが相手に信頼感を与えるものであるか、日頃からチェックする必要があります。他の事がきちんとしていても身だしなみが一つでも欠けていたら全てが無駄になってしまうこともあります。また、挨拶に関しても感じの良い言葉遣いをし、敬語は正しく使い、気持ちの良い笑顔で挨拶ができるように心がけ、今後も職員一同接遇に関して意識を高めていきたいと思っております。



介護教室

リハビリテーション科 理学療法士
金剛 裕貴

当院では毎月第4土曜日に患者様・ご家族様を対象とした介護教室を実施しています。

介護教室では、退院後安心した生活が可能となるように、毎月さまざまな分野の指導やアドバイスをしています。

退院後に患者様が家族様と一緒に自宅で適切な運動を継続していく事により、体力・筋力の維持に繋がり、安定して生活を送る事が出来ます。その為、動作指導・自主トレーニングメニューの提案も含めて、転倒予防教室や寝たきり予防教室などを行っています。

また、家で介助を行っていきたいが、出来るかどうか不安を感じているご家族様も多くいらっしゃいます。そのようなご家族様も『この

介助なら出来るかも』と思って頂けるように、排泄動作や入浴動作等、介助方法の指導やサービスの説明を行っています。

今後も沢山の方が、介護教室に参加して頂き、介護教室で得た知識を利用して在宅でも安心して楽しく生活が送れるようになればと考えております。



患者様の一言 About patient

「4ヶ月間のリハビリテーションの成果」

リハビリ病院選択の要因

私が脳出血と言う大病に襲われたのは、3月末の会社での出来事でした。急性期には都内の病院に1ヶ月余り入院し、4月末本院に転院しました。本院を選択した理由は次の4つでした。

365日リハビリの実施	充実したスタッフの配備
自宅に近いこと	安心・安全の入院体制

リハビリは毎日の積み重ねが重要

リハビリは前述したように365日毎日3時間実施されます。リハビリの先生方に時には厳しく、時にはやさしく励まされながら毎日行われます。非常に大変ですが、意識を持って熱心に行えば必ず素晴らしい成果が得られますので気を抜いてはいけません。(気分が乗らない時には家族の励ましが必要です。)

気になる食事

リハビリ以外に楽しみと言えば毎日の食事です。病院食は健康面を考慮して、やや薄味ですが高血圧・糖尿病等に適合したオーダーメイドの食事となっています。メニューも多種多様で栄養士さんに感謝です。



3階病棟 大賀 博之さん

リハビリの成果は

- 4ヶ月間のリハビリの成果として私の場合は
- ①杖での自立歩行が可能となり、杖無しでも、300m位歩けるようになりました。
 - ②麻痺肩・手指の改善のリハビリをして、洗顔・洋服の脱着、タオルも絞れ、入浴時も一人で洗うことも可能になりました。
 - ③精神面でも自信が付き将来の展望も考えられるほどに安定してきました。

以上のようにリハビリによって日常生活動作の質的改善のみならず、精神面の安定性を得ることができました。

病院のスタッフの皆様方には大変お世話になりました。心より厚くお礼申し上げます。

これからもスタッフの皆様方が健康に留意され患者様のリハビリに貢献されることを切に願うものです。

訪問リハビリ Report of rehabilitation visits

理学療法士
住谷 弘晃

平成23年10月より訪問リハビリテーションに配属となりました。理学療法士の住谷弘晃と申します。

訪問リハビリのスタッフになる前は回復期リハビリのスタッフとして病院内でのリハビリを行っていました。回復期リハビリでは、患者様が笑顔でご自宅に帰ることができるように毎日のリハビリを行っていましたが、訪問リハビリでは利用者様がご自宅に帰ってから、どういった生活をし、どういったことに困っているのかということ、実際に目にし、在宅での視点でリハビリをすることができます。病院内でのリハビリではなかなか知ることのできないことがいっぱいあると思いますので、不安も多々ありますがこれから楽しみです。

また、訪問リハビリではケアマネージャーなどの

他職種の方々やご家族様、地域の方々など、院内ではあまり関わることが出来ない方々との交流があります。自身の接遇などの不安もたくさんありますが、利用者様やご家族様の不安が少しでもなくなり、笑顔が一つでも増えるように全力で頑張っていきたいと思います。



スタッフの一言 About staff

当院は回復期リハビリと言っても褥瘡があつたり低栄養状態の患者様が在院しています。その改善への取り組みはもちろん、ずっと自分のポリシーとしてきた「身内に出すつものの食事の提供」をこれからも続けていきたいと思っています。

私が明生リハビリテーション病院で働き始めて1年と10ヶ月が過ぎました。
リハビリ病院の前は所沢明生病院の外来に勤務していました。外来は患者様とその日その時だけの関わりだけで、入院中の患者様はどのように過ごされているかとても興味がありました。体を動かしながら、治療していくリハビリは私に合っていると思いついて異動しました。患者様と接する中で、高次機能障害のある患者様の行動には意味があり、している行動を理解したいのですが、意思疎通がとれない毎日の中、リハビリにより患者様と意思疎通ができた時が、私にとって最も嬉しいことでした。
これからも患者様との意思疎通を図り、より良い看護につなげられる様、頑張りたいと思います。

栄養科
石倉 玲子

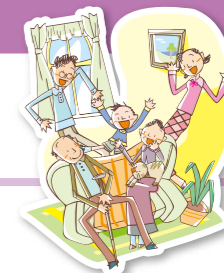


3階病棟 看護師
若林 利子



地域医療連携室かわら版 Information

【在宅】ケアマネージャーの選び方



ケアマネージャーは介護ライフのパートナー

要介護(1~5)の認定を受けると、介護サービス(介護給付)を受けることができます。介護サービスを受けるには、「ケアプラン(介護サービス計画)」の作成が必要となり、この作成の際、お世話になるのがケアマネージャーです。ケアマネージャーはケアプランの作成を代行してくれるだけでなく地域のごことでどんなサービスが受けられるのかを熟知した専門家として、さまざまな相談に乗ってくれる頼もしいパートナーです。

ケアマネージャーを選ぶときのポイント

ケアマネージャーは居宅介護支援事業者に所属しています。通常、地域包括支援センターや市町村の介護保険課から事業者の一覧を入手し、その中から自分で選んだ事業者に連絡して、面談などを通して選ぶことになります。長くお世話になる相手なので、経歴や資格、人柄など、さまざまな面からじっくりと判断しましょう。

経歴や保有している資格は?	必須資格である介護支援専門員の資格を持っていることは当然として、ソーシャルワーカー、訪問看護師、保健師などの経験があるケアマネージャーなら、経験を通して得た知識を生かしたケアプラン作りが期待できる。	フットワークが軽い?	親の心身の状況の変化によって、さまざまな疑問や要望が出たときにどこまでフットワーク良く対応してくれるかも重要。サービスの変更や要望、日常的な介護のなかでの疑問点など、なんでも気軽に話せるかどうかをよく見極めよう。
こちらの話をよく聞いてくれるか?	こちらの悩みや要望などに的確に応えたケアプラン作りには、まず話をしっかり聞いてくれることが必須条件となる。質問や相談に対して反応が鈍かったり、納得できるような説明をしてくれないようなケアマネージャーでは困る。	介護保険以外のサービスへの知識は豊富か?	市町村などで独自に行っている高齢者福祉サービスや、民間の便利なサービスについての知識が豊富なケアマネージャーなら、それらと介護保険のサービスをうまく組み合わせたいときにも相談に乗ってもらえることができる。

ケアマネージャーはいつでも変更できる

真剣にケアマネージャーを選んだものの、どうしても親との関係がうまく合わない、要望にきちんと対応してくれないなど信頼関係を築くのが難しい場合は、いつでもケアマネージャーの変更を行うことができます。次の3つの方法があります。

- ① 担当ケアマネージャー本人や事業者ケアマネージャーを変更したい旨を伝える。
- ② 別の居宅介護支援事業者にケアマネージャーの変更を相談する。
- ③ 市町村の介護保険課にケアマネージャーの変更を相談する。

訪問介護などの介護サービスそのものについて気に入っている場合は、別の事業者所属するケアマネージャーに変更しても、それまでの事業者に継続してサービスを提供してもらうように依頼することが可能なので、あわせて覚えておきましょう。



明生リハビリテーション病院

リハビリアルバム



医療法人 新医療会

明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2
[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 10分

タクシーをご利用の場合
西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220
FAX 04-2939-2136

交通のご案内

